

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すてっぷえにわ		
○保護者評価実施期間	7年 9月 1日		7年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 24
○従業員評価実施期間	7年 9月 1日		7年 9月 30日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	7年 10月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節に応じて庭を活用したプログラム、イベントの実施	季節に合わせたプログラム・イベント（お花見、流しそうめん、プール、落ち葉遊び、雪遊び）を行う事で四季を感じ、その季節に応じた活動が出来ます。	庭では草花や鳥や虫などの自然に触れる機会を増やし、感受性を育むイベントを考えます。外出イベントでは公共交通機関を利用し、外出の幅を広げる事で、社会参加や自己肯定感の向上に繋がります。
2	特性に応じた適切な計画の作成・支援の提供	利用する方の特性・保護者からのニーズや課題を5領域を絡め、計画を作成しています。計画内容の把握を職員全員で共有し支援の実施を行っています。	カンファレンスや会議で情報共有を行い、日々の支援の中の振り返りを基に、改善方法を終礼時に話し合い支援の向上を図ります。
3	充実した研修・訓練	感染症対策、防犯研修、虐待防止研修等を職員全員で受け、研鑽を高めています。また、安全計画を基に施設周辺の安全点検に取り組み、利用者が安心出来る支援を行っています。	専門性を高める為、様々な研修に参加する事で職員のスキルアップを目指します。日々の支援の中で、施設内外の改善・修繕場所があった際には速やかに対処していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の事業所や地域交流、児童クラブとの交流がない	・他事業所と関わる機会が少ない。 ・時間帯の設定や、児童クラブ関係者との繋がりがなく交流会の設定が出来なかった。	・近隣地域の児童クラブとの交流会、及びイベントの招待を検討します。 ・イベント時、ボランティアを受け入れ交流を図ります。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 すてっぷえにわ

公表日 2025年11月4日

利用児童数

24

回収数

24

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	2		3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1		1		
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1		1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	1	14		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	2	1	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	24					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23			1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	1		3		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22			2			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	2		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22			2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21			3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24					
	29	事業所の支援に満足していますか。	24					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス すてっぺえにわ			公表日	2025年 11 月 4 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9					
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9					

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		9		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9				

支援プログラム

すてっばえにわ

事業所名	より良い福祉サービスの提供を通じて、社会に貢献します。		
法人(事業所)理念	様々な要因から課題を抱えている児童に対し、個々に応じた療育を行います。学校や学年に関係なく友達づくりをし、一緒に学ぶ居場所づくりを行っていきます。		
支援方針			
営業時間	9 時	0 分から	17 時
		0 分まで	
			送迎実施の有無
			あり
	支 援 内 容		
健康・生活	健康な体と心を育て、集団生活を過ごしていく。集団で過ごす中で、食事や排泄等の基本的生活リズムを身に着け、基本的技能を獲得する。時間での活動の切り替えを声掛けや、絵カード+文字での掲示にてわかりやすく伝えていく。		
運動・感覚	粗大運動やコーディネーショントレニングなど、特性に合わせた運動を行い、運動機能や身体能力、感覚統合の向上を図る。活動に取り組み前にルールや体の動かし方等の説明を行い、基本的動作、自己のコントロールを理解する。		
認知・行動	文字や数字を遊びやルールに導入し、活動の面白さ、興味の拡充を図る。言葉だけでなく、実物や動画、写真などを提示し、自分で気持ちを感知られるような自己決定の形成を図る。		
言語コミュニケーション	コミュニケーションの場を作り、会話で自身の気持ちが表出出来るようサポートする。また、コミュニケーションツールを用いてどのような気持ちなのかを考え、その気持ちが出せるよう支援する。コミュニケーションの中で自身の気持ちが相手に伝わった際には、称賛しコミュニケーション能力の向上を促していく。		
人間関係 社会性	集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。他者との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成する。		
家族支援	自宅への送迎時、施設への送迎時に、施設での様子を口頭や連絡帳にて伝える。保護者と事業所の連携が必要の際は、都度スケジュールを調整し、情報共有の場を設ける。	移行支援	B型事業所と繋がり、野菜の種植え、収穫等の就労に向けた作業の活動に参加している。
地域支援・地域連携	本児の学校での様子を送迎時に同う。様子等の何か変われば、関係機関と連絡を取り、情報共有を行う。	職員の質の向上	帰り送迎終了後に、毎日支援の振り返りや支援内容の結果報告を行っている。また、社内研修を行い、支援・サービスの向上を目指している。
主な行事等	秋祭り、雪祭り、外出(動物園、水族館、科学館)、製作活動、クッキング、外食、クリスマス会、初詣、お誕生日会、卒業・進級を祝う会、保護者交流会)		